B. 1. 男の人はきかいを使ってみます。 2. 男の人はしょうゆを入れてみます 3. 男の人は学生に聞いてみます。 4. 男の人は病院に行ってみます。 5. 男の人は出田さんに電話してみました。

第四課

きそく

(Rules)

- I. Expressing unacceptable actions or situations, using the て-form+は いけない/だめ
 - A. 1. Dialogue G 手紙を読む、いい 2. Dialogue B 荷物を送る、だめ 3. Dialogue E お金を引き出す、いい 4. Dialogue D ーキロをこえる、だめ 5. Dialogue F うんてんする、だめ 6. Dialogue C パスポートだ、いい
 - B. 1. いいえ、お金がかかっては/ちゃいけません。 2. ええ、あくしゅをしてもいいです。 3. いいえ、かぎをかけてもいいです。 4. ええ、ペットをかっては/ちゃいけません。 5. ええ、セクションをかえてもいいです。 6. ええ、 もにゅう 大きいこえで話しては/ちゃいけないんです。 7. いいえ、この申込書に記入しては/ちゃいけません。
- II. Expressing obligations and social expectations, using the negative stem + ければ/なくてはならない/いけない; Expressing a lack of obligation or social expectations, using the negative stem + なくてもいい
 - A.1. はい 2. いいえ 3. いいえ 4. はい 5. いいえ
 - B. 1. ええ、今学期じゃなきゃいけませんよ。 2. いいえ、よくなくてはいけませんよ。 3. いいえ、なくてもいいですよ。 4. ええ、しなくちゃいけないよ。 5. うん、おとしてもいいよ。(male) or ええ、おとしてもいいわよ。(female) 6. いいえ、引き出しちゃだめだよ。(male) or いいえ、引き出しちゃだめよ。 (female) 7. いいえ、貯金しなくてもいいですよ。

III. Expressing the performance of two actions simultaneously, using the ます stem of verbs + なが

Α.

	Main action	Secondary Action
1.	しごとをする	あそぶ
2.	べんきょう 勉強する	クラシックを聞く
3.	話す	おさけを飲む
4.	シャワーをあびる	うたをうたう
5.	おじぎをする	あくしゅ 握手をする
6.	おさけを飲む	たばこをすう
7.	話す	歩く

B. 1. なきながら、手紙を書きます。 2. 話しながら、うんてんします。 3. うた をうたいながら、山にのぼります。 4. 新聞を読みながら、朝ごはんを食べま もうしこみしょ きにゅう す。 5. 辞書で漢字をしらべながら、申込書に記入します。 6. ごはんを作り ながら、やきゅうを見ます。

IV. Listing actions and states, using the plain form $+ \cup$; Implying a reason, using the plain form $+ \cup$

- A. 1. too little time 2. good room 3. practicing conversation 4. eating good food 5. bad weather yesterday 6. too expensive
- B. 1. このへやはきれいだし、しずかです。 2. 昨日は休みだったし、一日中ひまでした。 3. 私はにんじんは食べないし、レタスもきらいです。 4. 授業におがいていたし、作文の宿題も忘れました。 5. 外国人登録証がないし、運転免許証 も使えません。 6. はんこもいったし、サインもいりました。 がくともだけいってました。

V. Expressing conditions originated by others, using (の)なら

- A.1. お金がいる(の)なら、お父さんに借りたらどうですか。 2. 普通預金の 口座をひらく(の)なら、あそこに行って下さい。 3.寒い(の)なら、コー トをきたらどうですか。 4.ペットをかう(の)なら、いぬがいいですよ。 5. 口座番号が分からない(の)なら、私がしらべてみましょう。 6.その先生が
- 好き (なの) なら、セクションをかえたらいいでしょう。 $\frac{1}{80}$ B. 1. このえを送りたい (の) なら/このえを送る (の) なら、大きいふうとうが $\frac{1}{800}$ なっきょきん こうぎょう いります。 2. 普通預金の口座をひらきたい(の)なら/普通預金の口座をひ らく(の)なら、パスポートを持って行った方がいいです。 3. 授業におくれ

そう(なの)なら、走って行った方がいいです。 4.あたらしい車を買うつもり(なの)なら/あたらしい車を買う(の)なら、トヨタがいいですよ。 5. 日本語のクラスのせいせきがよくない(の)なら、今から会話の勉強をしたらどうですか。 6.日本に作十年住んでいた(の)なら、日本語がよく分かるでしょう。 7.山田さんは病気(なの)なら、今日は学校に来ませんね。

第本課私の将来、準備

(My future, making preparations)

1. Using もう and まだ

- A. 1. still 2. already 3. not yet 4. not anymore 5. not yet 6. not anymore
- B. 1. はい、まだつづけたいです。 2. いいえ、まだなおっていません。 3. はい、もう始まりました。 4. いいえ、もうついていません。 5. いや、まだかかってないよ。 (male) or いや、まだかかってないわよ。 (female) $_{t=55}$ 6. うん、まだ寒いよ。 (male) or ええ、まだ寒いわよ。 (female) 7. いや、もう間違って(い)ないよ。 (male) or いや、もう間違って(い)ないわよ。 (female) 8. うん、もう起こしたよ。 (male) or ええ、きょう起こしたわよ。 (female)

II. Expressing purpose and reason using the plain form +ため; Expressing preparation, using the τ -form of verbs +おく

- A. 1. おちゃを飲むために 2. 留 学するために 3. 自分の 結婚式のために/ 結婚式に人を招待する 4. べんごしになるために 5. 天ぷらを作るために 6. 色々な国に行くために/外国に行くために
- B. 1. withdraw some money so that they can go on a trip tomorrow 2. order a meal so that the man can make a phone call 3. take medicine so that he does not catch a cold 4. talk to the teacher so that he can take the test later 5. keep the door closed so that he can leave 6. clean his room so that he can welcome his parents in a clean room.

III. Using transitive and intransitive verbs; Expressing results of intentional actions, using the τ -form of verbs + δ

A.1. 宿題を間違える 2. 仕事がのこる 3. せいせきが上がる 4. えんぴつをおとす 5. おゆがわく 6. 授業が始まる 7. 電話がかかる 8. テレビをつける 9. 電気

がきえる 10. 卒業が決まる 11. 切手をあつめる 12. コンピュータがなおる 13. 友達を車に乗せる 14. まどが開く 15. 宿題を返す 16.お父さんを起こす B. 1. b 2. b 3. b 4. a 5. b 6. b

IV. Using the particle か (either \sim or \sim); making indirect questions, using \sim か(どうか)

- A.1. べんごしやエンジニアがいいと思っています。 2. 給料と場所が大切だと まむら まむら すずき 思っています。 3. 木村さんか鈴木さんがなるでしょう。 4. ぼうえき会社の 社長かホテルのマネージャーです。 5. 両親とべんごし (と女の人) です。 6. 「持つ」という漢字や「天気」の「天」という漢字を間違えました。
- 6. 「持つ」という漢字や「天気」の「天」という漢字を間違えました。
 B. 1. どんな仕事をするかまだ分かりません。 2. 去年寒かったかどうか忘れました。 3. どこにおいたかおぼえていません。 4. 何時につくかおぼえてません。 (5) ケーキはいつ持って来る(の)か分かりません。 6. レストランかもしれません。 7. 同じ物です。
- V. Using question word + t ~ negative and question word + t ~ affirmative

A. 1. never 2. sometime in the future 3. any 4. someone 5. anywhere 6. nowhere

第六課 道の聞き方と教え方

(Asking for and Giving Directions)

- I. Expressing a route, using the particle を; Expressing a point of departure, using the particle を; Expressing scope or limit, using the particle で
 - A.1. Answers will vary: sample answers:五百メートルぐらいで、左側にあります。 2. たいしかん ひだり この道の二つ目の角を左にまがったら、市役所が見えます。アメリカ大使館はその先です。 3. 駅を出て、まっすぐ百メートルか百五十メートルぐらい行った所です。 4.二つ目のしんごうを右にまがってまっする大きいデパートまで、 たいだり ひだり できます。地下鉄はデパートの下です。 5. 黒い大きなビルの角を左にまがって、少し行って横断歩道をわたった所です。 6. いいえ、東京で中央線に乗りかえます。

II. Expressing chronology, using the τ -form of the verb + \hbar ; Expressing conditions leading to set consequences, using the plain form + ξ

- A.1. a. いいえ、ジョギングしてからシャワーをあびました。 b. 朝ご飯を食べました。c. いいえ、新聞を読んでからふくを着ました。d. まどを閉めてから出かけました。
- 2. a. いいえ、(コーヒーを飲みながら)田中さんと話してからミーティングに出ました。b. コンピュータで仕事をしてから昼ごはんを食べました。c. 田中さんと飲みに行く予定です。
- B. Answers will vary. Sample answers:

 1. 75セント入れると、買えます。 2. 東京から新幹線に乗ると、三時間ぐらいで京都に着きます。 3. 交差点で止まらないと、交通事故にあうでしょう。 4. 友達

がようです。3.父左はて正まらないと、父連争故にありでしよう。4.反達が遊びに来ると、うれしいです。5.お菓子や肉をたくさん食べると、体に悪いです。

III. Expressing possibility, using the dictionary form of the verb + ことが出来る

- A.1. いいえ、少しは話すことが出来ますが。 2. いいえ、肉はぜんぜん食べることが出来ないんです。 3. いや、この建物の中ではすうことは出来ないよ。4. ラボが閉まってたからすることが出来なかったんだ。(male) or ラボが閉まってたからすることが出来なかったの。(female) 5. 午後四時ごろなら会うことが出来ますが。/ 以来 きが で
- すが。/ 出来主まけどで B. 1. つぎの駅で急行に乗りかえることは出来ませんが、二つ目の駅では出来ます。 2. この道路で自転車に乗ることは出来ませんが、歩道では出来ます。 3. 教科書を見ることは出来ませんが、辞書を使うことは出来ます。 4. この店の電話を借りることは出来ませんが、公衆電話からかけることは出来ます。 5. その荷物を航空便で送ることは出来ませんが、船便で送ることは出来ます。

IV. Expressing limited degree using だけ~affirmative or しか~negative

- A.1. 二年だけ住んでいます。 2. 自分にだけ買ってきました。3. げんかんのまどだけ開けてあります。4. 各駅停車だけ止まります。5. 池田さんにだけ話してあります。
- B. 1. え、二年しか住んでいないんですか。 2. え、自分にしか買ってこなかった の。 3. え、げんかんのまどしか開けてないの。 4. え、各駅停車しか止まら ないんですか。 5. え、池田さんにしか話してないの。

V. Expressing presuppositions, using the plain form + はず

- A.1. いいえ、このへんにはないはずです。 2. いいえ、だれも使っていないはずです。 3. 杉森さんのむすこさんのはずです。 4. 「ウノ」の方がおいしいはずです。 5. もうすぐ/今日来るはずです。
- B. 1. ええ、この角をまがるとあるはずですよ。 2. ええ、まだ帰っていないはずです。 3. ええ、今日はお休みのはずです。 4. ええ、つぎの駅でしか各駅停車に乗りかえられないはずです。 5. ええ、ジョーンズさんはひまなはずです。 6. ええ、駅からそんなに遠くないから、五分か十分で行けるはずです。

第七課 贈り物



I. Using verbs of giving and receiving

- A. 1. receiver 2. giver 3. receiver 4. receiver 5. giver
- B. 1. 私は兄に小さくなったズボンをもらいました。 2. 私は母にはちうえのバラ の花を上げました。 3. 日本から帰った父は私に日本のお菓子をくれました。 4. 私はお世話になった先生にカードをいただきました。 5. 私は先生におせい

ぼに石けんを差し上げました。

II. Expressing desire, using ほしい and the て-form of the verb + ほしい

- A.1. 青い自動車をほしがっています。2. いいえ、ビールをほしがっています。3. 一番大きいおさけをほしがっています。4. 五十ドルほしがっています。5. いいえ、子犬のぬいぐるみをほしがっています。
- B. 1. この人はその小説を見せてほしいと思っています。2. この人はキムさんに早く来てほしいと思っています。3. この人はだれにもこの写真を見てほしくないと思っています。4. この人はジョーンズさんに昨日のパーティーに来てほしかったと思っています。5. この人はクッキーの作り方を教えてほしいと思っています。